

2010・2011年度教研研究テーマ
イエスの生き方に倣う
キリスト教学校
—これから100年に向けて—

キリスト教学校教育

<http://www.k-doumei.or.jp/> E-mail info@k-doumei.or.jp

キリスト教学校教育同盟
〒169-8509 東京都新宿区西早稲田2-3-18-72
電話 03(3203)0351
FAX 03(3203)0362
理事長人 野本 真也
会員登録料 200円(加盟店法人の購読料は会員料に含まれています)
(毎月1回15日発行)

1

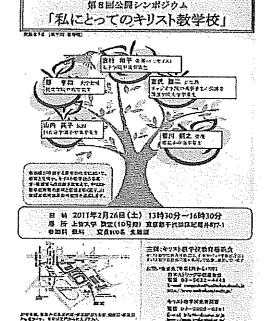
キリスト教学校教育懇談会第8回公開シンポジウム
主題「私にとってのキリスト教学校」

2月26日(土) 上智大学で開催

日本カトリック学校連
合会、キリスト教学校
教育懇談会主催の第
8回公開シンポジウム
が、2月26日(土)13時30
分から上智大学講堂10
号館(東京都千代田区
紀尾井町7-1)で開催
される。

テーマは「私にとって
のキリスト教学校」で、
参加費は無料(定員8
名)の各氏。

行和子(伊藤・エッセイ
スト、女子学院中学校・
高等学校卒業生)、富武
真也(元教職員)、関係者
に回る。



各法人にポスター・チラシを送付しました

キリスト教学校教育懇談
会

加盟校動静

宮城学院

出村彰氏が10年11月27日

0年記念作文・エッセイ

イコンテスト最優秀賞

(訂正)

12月号2面「同盟10
年記念作文・エッセイ」

お詫びして訂正

します。

- <1月号目次>
- ▶100周年記念式典・シンポジウム特集 <2~5面>
- ▶わが校のワンポイントアピール <2~8面>
- ▶第5回全国聖書科研究会 <6~7面>
- ▶関東地区中高研究集会 <7面>
- ▶『百年史年表』刊行(8面)
- ▶ハイ・こちらQ&A(〃)
- ▶公募、報告予定(〃)

以下、教育同盟はこの結成10周年を迎えた。わたしたちは何よりもます、ここにいたまでの歴史の歩みを導いてくださった父なる神に、心からの感謝をささげたいと思います。教育同盟は、日本に福音の種が蒔かれ、各地でミッション・スクールやキリスト教学校が芽を出し、成長し始めたや否や、国家主義の敵いの闘いを繰り広げた中、また世界的なエキノカル運動が高まる中で、同志的結束を願う先達たちの祈りと努力によつて誕生いたしました。それ以来、20世紀前半の時代には、世界と日本の歴史の荒波に揉まれ、戦争への協力を余儀なくされるなど、厳しい試練にさらされました。また、20世紀後半の時代には、欧米のキリスト教の強力を強く覚えます。

しかし、ここに至るまでには、先達の苦闘の歴史がありました。時には、文字どおり存在をかけて、神から与えられた使命を担い切ってきた。今は天上に召された多くの先達の方々を想い、尊敬と感謝の念を強く覚えます。

100周年記念式典式辞としての一致を

スピリチュアル・ユニオンとしての一致を

教育同盟理事長 野真也

現状の困難な課題をかかえているからこそ、まだわが神の前に、そしてお互いに弱さをかかえているからこそ、異なる意見と立場を尊重し合い、一致を願い求めていかなければなりません。そして、その一致は何よりもまず

スピリチュアル・ユニオンとしての一致でなければなりません。わたしたちは、100年を経て今日どきの目標を達成したのです。そこで、その一つ、教育同盟の加盟校は、各々固有の歴史とそこでその歴史の延長上で受けたものとの違いがあります。そのため、新たな歴史の中から先達の堅い意志と恵みを学び取り、わたしたちもまたそれを継承していく決意を新たにして、いかに歴史そのものを見える御手によつて受けとめ直し、わたしたちが持っている伝統をもつキリスト教主義によってキリストの福音を改めし、わたしたちの信仰と連れて受けとめ直し、わたしたちが持っている伝統をもつキリスト教主義によってキリスト教理解のものもまた多様あります。それだけに、意見の一致を見つけることが困難である場合

見つけ、相互の交わりを深めていたいと思います。

課題をかかえています。

その一つ、教育同盟の加盟校は、各々固有の歴史とそこでその歴史の延長上で受けたものとの違いがあります。そのため、新たな歴史の中から先達の堅い意志と恵みを学び取り、わたしたちもまたそれを継承していく決意を新たにして、いかに歴史そのものを見える御手によつて受けとめ直し、わたしたちが持っている伝統をもつキリスト教主義によってキリストの福音を改めし、わたしたちの信仰と連れて受けとめ直し、わたしたちが持っている伝統をもつキリスト教主義によってキリスト教理解のものもまた多様あります。それだけに、意見の一致を見つけることが困難である場合

司
会
野
本
真
也
同志社理事長
教育同盟理事長(2009~現在)
(敬称略)

深
町
正
信
元教育同盟理事長、青山学院名譽院長
山
内
一
郎
関西学院大学名誉教授、関西学院前理事長
元教育同盟理事長(2003~2005)
久
世
了
明治学院学院長
前教育同盟理事長(2005~2009)

深
町
正
信
クラーク学園理事長、青山学院名譽院長
元教育同盟理事長(1999~2003)
山
内
一
郎
関西学院大学名誉教授、関西学院前理事長
元教育同盟理事長(2003~2005)

母体となる「基督教教育同盟会」が発足した。戦後は新憲法のもと、数の男子校が「基督教教育同盟会」を結成して、これに抵抗した。また、13大正2年に、女子校の連合として「女子基督教教育同盟会」が発足し、これをめぐらしくて、「女子基督教教育同盟会」が発足した。戦後は新憲法のもと、日本基督教のものと日本基督のものとの連合として「女子基督教教育同盟会」が発足した。

13大正2年に、女子校の連合として「女子基督教教育同盟会」が発足した。戦後は新憲法のもと、日本基督教のものと日本基督のものとの連合として「女子基督教教育同盟会」が発足した。



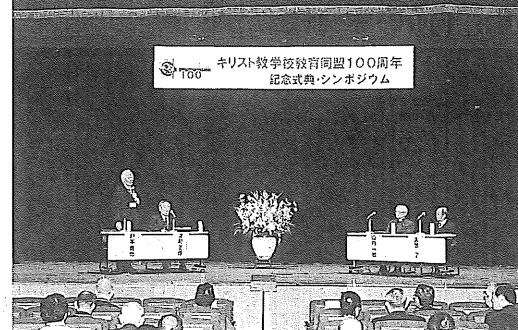
13大正2年に、女子校の連合として「女子基督教教育同盟会」が発足した。戦後は新憲法のもと、日本基督教のものと日本基督のものとの連合として「女子基督教教育同盟会」が発足した。

13大正2年に、女子校の連合として「女子基督教教育同盟会」が発足した。戦後は新憲法のもと、日本基督教のものと日本基督のものとの連合として「女子基督教教育同盟会」が発足した。この連合は、1910年、広い校地を求めて神奈川区中丸の現在地に移り、それから100年が経った。移転に伴う生徒の減少、横浜大空襲による全校舎の焼失など、存亡の危機を何度も経験した。

しかしながら、「キリスト教に基づき、真理の探究をなし、人間形成の教育をする」という建学の精神が揺らぐことはなかった。時代と人が変わっても、搜真が最も大切にしてきたのは毎日の礼拝と心からの祈りである。

「神よ、日本人を祝福してください」という創立者の祈りは、カンヴァース校長の「私どもはこの学校のために生きるのです。学校のためならば自分の命をも惜しません」の決意の祈りに引き継がれた。良い時にも、困難な時にも、教職員が祈りつつ教育に携わり、生徒も祈りに心を合わせてきた。

今も礼拝は学校生活の中心である。全校礼拝、中高別の礼拝、クラス礼拝と形は様々だが、全生徒と教員を育むことが出来るのである。



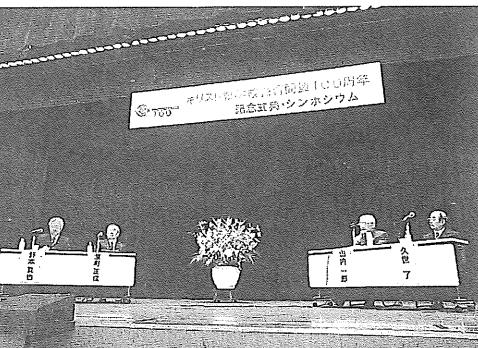
100周年記念シンポジウム

キリスト教学校教育同盟の回顧と展望

発題要旨

キリスト教学校は礼拝する学校、大学

深町氏



第2代校長
カンヴァース

搜真学院は、1886(明治19)年、横浜の山手で誕生し、2011年に創立125周年を迎える。バプテスト派宣教師ネーラン・ブラウンが訳した平仮名聖書を印刷した建物の2階で、彼の妻シャーロットが女性のための塾を始めた。この小さな学校は第2代校長カンヴァースの時代に大きく成長し、搜真女学校と名づけられた。1910年、広い校地を求めて神奈川区中丸の現在地に移り、それから100年が経った。移転に伴う生徒の減少、横浜大空襲による全校舎の焼失など、存亡の危機を何度も経験した。

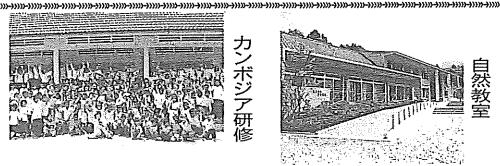
しかしながら、「キリスト教に基づき、真理の探究をなし、人間形成の教育をする」という建学の精神が揺らぐことはなかった。時代と人が変わっても、搜真が最も大切にしてきたのは毎日の礼拝と心からの祈りである。

「神よ、日本人を祝福してください」という創立者の祈りは、カンヴァース校長の「私どもはこの学校のために生きるのです。学校のためならば自分の命をも惜しません」の決意の祈りに引き継がれた。良い時にも、困難な時にも、教職員が祈りつつ教育に携わり、生徒も祈りに心を合わせてきた。

今も礼拝は学校生活の中心である。全校礼拝、中高別の礼拝、クラス礼拝と形は様々だが、全生徒と教員

わが校のワンポイントアピール

愛、ひとりひとりを受け継がれる祈り
125年間、受け継がれる祈り
搜真学院



カンボジア研修
自然教室

が参加する。職員や講師も出席する。クリスチャンも、ノンクリスチャンも、教職員も生徒も、聖句を選んで、誓をし、祈る。水泳大会・修学旅行・クラブ合宿などの校外行事、同窓会・保護者会・父の会の集まりも同じ。1957年に開校した搜真小学校(共学)ももちろん毎日礼拝を守る。教員会議も祈祷会で始まり、黙祷で終わる。

キリスト教のプログラムも多い。静岡県御殿場市の本校施設「自然教室」(2005年建替え)で行う宿泊修養会、校内での一日修養会は、学年ごとに、隣人を愛する生き方を聖書から学ぶ。特に「自然教室」は卒業生にとって、心の故郷ともいべき場所になっている。

ボランティア活動が盛んなことも特色のひとつと言えよう。フィリピンの子どもの里親、カンボジアにおける小学校建設と文房具支援、アジアの子どもたちに絵本を贈る活動、近隣の社会福祉施設訪問、地域清掃など、実に多岐にわたる。

横浜の丘に掲げられた搜真の灯火は決して大きくならない。しかし、搜真に連なる者はともに聖書を読み、賛美の歌声を上げ、祈り、小さくとも愛の業の実践に心を傾けてきた。そのような在り方を受け継いでいくたい。

中島昭子(搜真女学校中学部・高等学部教頭)

